

平成28年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年10月27日

上場会社名 日華化学株式会社 上場取引所 東 名  
 コード番号 4463 URL http://www.nicca.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江守 康昌  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部門長 (氏名) 澤崎 祥也 TEL 0776-24-0213(代表)  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第3四半期の連結業績（平成28年1月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第3四半期	32,115	△5.5	1,106	△53.3	1,098	△55.9	592	△63.7
27年12月期第3四半期	33,986	16.2	2,370	11.2	2,490	12.2	1,632	23.6

(注) 包括利益 28年12月期第3四半期 △1,546百万円 (△259.5%) 27年12月期第3四半期 969百万円 (△53.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第3四半期	37.74	—
27年12月期第3四半期	98.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年12月期第3四半期	46,973	18,417	34.4	1,030.80
27年12月期	49,067	20,515	36.4	1,137.59

(参考) 自己資本 28年12月期第3四半期 16,174百万円 27年12月期 17,849百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	8.00	—	12.00	20.00
28年12月期	—	10.00	—		
28年12月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年12月期の連結業績予想（平成28年1月1日～平成28年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,000	△5.4	2,000	△15.4	2,000	△18.1	2,500	117.1	159.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年12月期3Q	17,710,000株	27年12月期	17,710,000株
② 期末自己株式数	28年12月期3Q	2,019,016株	27年12月期	2,019,016株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年12月期3Q	15,690,984株	27年12月期3Q	16,641,018株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（自平成28年1月1日至平成28年9月30日）におけるわが国経済は、輸出などでの回復の兆しがみられるなど企業業績が好調に推移していることに加え、政府による補正予算での景気の下支えがなされるなど、緩やかな回復基調で推移しております。一方で、個人消費の停滞感がみられることや、日銀による前例のないマイナス金利政策が実施され、海外においても、中国経済の減速や金融市場の混乱、米国経済の下振れ懸念や追加利上げの見送り、更には円高・ドル安方向への動きなど、従来にも増して先行きの不透明感が強まる状況となりました。

こうした経営環境のもと、当社グループは、化学品事業、化粧品事業ともに積極的な事業活動を推進した結果、売上高は321億1千5百万円（前年同期比5.5%減）、営業利益は11億6百万円（同53.3%減）、経常利益は10億9千8百万円（同55.9%減）、親会社株式に帰属する四半期純利益は5億9千2百万円（同63.7%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、文中の各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

## ①化学品事業

売上高は228億9千1百万円（対前年13.5%減）、セグメント利益は7億4千3百万円（同66.5%減）となりました。

国内では、半導体市場の堅調な推移により大智化学産業株式会社が収益に寄与したほか、業務用クリーニング薬剤の販売が順調に推移しました。海外では、繊維加工用薬剤事業における営業活動強化により、中国、ベトナム、インドネシア等で売上高が伸張したものの、韓国での大型受託生産案件終了や年初よりの円高及びアジア通貨安の影響により売上高は減少しました。

## ②化粧品事業

売上高は90億4百万円（対前年20.6%増）、セグメント利益は17億5百万円（同26.3%増）となりました。

当社デミコスメティクスやイーラル株式会社の販売が堅調に推移したことに加え、山田製薬株式会社における化粧品製造受託事業が大幅に伸長し、DEMI KOREA CO., LTD. における販売も引き続き好調であることから、売上高は増加しました。

## ③その他事業

売上高は2億1千9百万円、セグメント利益は1千2百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結累計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ、20億9千4百万円減少し、469億7千3百万円となりました。主な要因は、たな卸資産は増加したものの、現金及び預金、受取手形及び売掛金が減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ、3百万円増加し、285億5千5百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金は減少したものの、短期借入金、長期借入金が増加したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、20億9千8百万円減少し、184億1千7百万円となりました。為替換算調整勘定の減少及び非支配株主持分の減少が主な要因であります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の36.4%から34.4%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年7月28日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### （企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

#### （平成28年度税制改正に係る減価償却方法変更に関する実務上の取扱いの適用）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第2四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

#### （たな卸資産の評価方法の変更）

当社及び一部の連結子会社における原材料の評価方法は、従来、総平均法による原価法を採用しておりましたが、第2四半期連結会計期間より、移動平均法による原価法に変更しております。

これは業務の効率化と業績管理の適正化を目的とした当社の新基幹システムが第2四半期連結会計期間において稼動したことを機に、原材料価格の変動に対応した適切な在庫管理を行うとともに、より適切なたな卸資産の評価及び期間損益計算を行うことを目的とした変更であります。

なお、当該変更による影響額は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,652,338	4,796,050
受取手形及び売掛金	10,700,720	9,524,822
商品及び製品	3,276,283	4,634,278
仕掛品	875,174	464,642
原材料及び貯蔵品	2,812,912	2,903,061
その他	1,697,108	1,720,153
貸倒引当金	△81,071	△37,237
流動資産合計	26,933,465	24,005,772
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,460,704	7,070,026
機械装置及び運搬具（純額）	2,374,569	1,972,991
土地	6,262,802	6,033,064
その他（純額）	2,091,093	4,168,373
有形固定資産合計	18,189,170	19,244,455
無形固定資産		
のれん	185,622	118,751
その他	787,246	661,273
無形固定資産合計	972,868	780,024
投資その他の資産	2,971,860	2,942,885
固定資産合計	22,133,899	22,967,365
資産合計	49,067,364	46,973,137

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,901,131	4,696,837
短期借入金	14,445,308	15,121,486
未払法人税等	388,475	185,285
賞与引当金	542,595	373,090
その他	3,111,344	2,824,394
流動負債合計	24,388,856	23,201,095
固定負債		
長期借入金	850,000	1,935,000
退職給付に係る負債	2,532,365	2,604,564
その他	780,785	815,124
固定負債合計	4,163,151	5,354,689
負債合計	28,552,007	28,555,784
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,898,545	2,898,545
資本剰余金	3,040,249	3,054,612
利益剰余金	12,130,467	12,377,499
自己株式	△1,464,292	△1,478,654
株主資本合計	16,604,969	16,852,002
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	359,815	322,422
為替換算調整勘定	913,669	△974,207
退職給付に係る調整累計額	△28,539	△25,961
その他の包括利益累計額合計	1,244,945	△677,745
非支配株主持分	2,665,442	2,243,096
純資産合計	20,515,357	18,417,353
負債純資産合計	49,067,364	46,973,137

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
売上高	33,986,993	32,115,807
売上原価	21,828,586	21,134,525
売上総利益	12,158,406	10,981,282
販売費及び一般管理費	9,787,752	9,874,774
営業利益	2,370,653	1,106,507
営業外収益		
受取利息	41,197	20,244
受取配当金	34,125	29,274
持分法による投資利益	55,245	58,505
為替差益	156	—
助成金収入	54,226	67,627
その他	144,504	154,296
営業外収益合計	329,456	329,948
営業外費用		
支払利息	70,309	68,455
為替差損	—	134,884
売上割引	59,924	72,409
その他	79,442	62,492
営業外費用合計	209,676	338,241
経常利益	2,490,433	1,098,214
特別利益		
固定資産売却益	43,332	2,429
投資有価証券売却益	77,821	6
段階取得に係る差益	18,026	—
負ののれん発生益	76,125	—
特別利益合計	215,306	2,436
特別損失		
固定資産除却損	18,436	3,775
固定資産売却損	78,205	18,385
投資有価証券売却損	—	204
特別功労金	—	25,800
特別損失合計	96,642	48,166
税金等調整前四半期純利益	2,609,097	1,052,484
法人税等	756,958	307,578
四半期純利益	1,852,138	744,906
非支配株主に帰属する四半期純利益	219,146	152,672
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,632,992	592,234



（四半期連結包括利益計算書）  
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日）
四半期純利益	1,852,138	744,906
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	99,970	△37,393
為替換算調整勘定	△987,319	△2,256,828
退職給付に係る調整額	4,953	2,578
その他の包括利益合計	△882,396	△2,291,642
四半期包括利益	969,742	△1,546,735
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	907,884	△1,330,456
非支配株主に係る四半期包括利益	61,857	△216,278

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成27年1月1日至平成27年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	化学品	化粧品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	26,461,584	7,465,789	33,927,374	59,618	33,986,993
セグメント間の内部売上高 又は振替高	497	17,613	18,110	44,055	62,166
計	26,462,082	7,483,403	33,945,485	103,674	34,049,159
セグメント利益	2,219,400	1,350,447	3,569,847	4,756	3,574,604

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメント合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,569,847
「その他」の区分の利益	4,756
セグメント間取引消去	△10,807
全社費用(注)	△1,193,144
四半期連結損益計算書の営業利益	2,370,653

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成28年1月1日至平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）	合計
	化学品	化粧品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	22,891,855	9,004,166	31,896,021	219,785	32,115,807
セグメント間の内部売上高 又は振替高	680	19,326	20,007	142,915	162,923
計	22,892,535	9,023,493	31,916,029	362,701	32,278,730
セグメント利益	743,649	1,705,152	2,448,802	12,583	2,461,385

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメント合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	2,448,802
「その他」の区分の利益	12,583
セグメント間取引消去	△56,462
全社費用（注）	△1,298,415
四半期連結損益計算書の営業利益	1,106,507

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。